



みのんだ だより

9月号

VOL. 93

医療法人方佑会 植木病院

令和2年9月1日発行

感染対策委員会監修

大人が罹ったら怖い水痘のお話し

内科 田中 淳二=文

水痘とは一般に水ぼうそうとして知られ、水痘・带状疱疹ウイルスに感染することによって起こります。飛沫感染や接触感染だけでなく空気感染でも広まるので、感染した人と同じ空間にいただけで感染してしまう感染力が極めて強い病気です。不顕性感染（感染しても症状が出ないこと）が少なく、ウイルスに感染すれば2週間程度の潜伏期間を経てほぼ確実に発症します。このため一人の感染者からあっという間に広がってしまいます。主に9歳以下の子どもの発症がほとんどですが、ごく稀に大人になってから水痘に罹る人もいます。



水痘の症状

発熱、倦怠感、赤いブツブツした発疹の症状がみられます。発疹は強い痒みを伴い、全身に紅斑（赤くなる）が現れます。この紅斑は胸やお腹を中心に全身へと広がり、丘疹（盛り上がる）、水疱（みずぶくれ）を経て痂皮化（かさぶた）し治ります。発疹出現の数日前からすべて痂皮化するまでの間は伝染力があるため、学校保健法により全ての発疹が痂皮化するまで登校を停止するよう定められています。大人の場合は、発疹前に発熱や倦怠感などといった症状が先にみられることもあります。

水痘を予防する

抗体検査について

- 当院でも抗体検査を行っていますので、外来もしくは医事課にてお問い合わせください。

費用 9,590 円（初診料込み）

- 採血にて検査を行い、1週間後に検査結果をお伝えします。



水痘を治療するには



ウイルスの増殖を抑える治療（抗ウイルス薬の投与）と、痒みや発熱などの症状を和らげる治療（対症療法）がありますが、基本的に自然経過で改善する病気です。ただし、大人や免疫不全のある患者さまが発症した場合は、合併症として皮膚の二次性細菌感染症や肺炎、さらに稀に脳炎などを起こし重症化するリスクがあるので、積極的に抗ウイルス薬を投与する必要があります。これらの治療は、症状を軽症化できますので、発症後できるだけ早く（2日以内）治療を行うことが大切です。症状の程度は人によってさまざまですので、早めに病院で受診して症状に合わせた治療を受けるようにしましょう。

ワクチン予防接種について



当院では取り扱いがありませんので、保健所に問い合わせいただくか、ホームページなどでご確認ください。



水痘を予防する

水痘の感染予防は水痘ワクチンの接種が効果的です。安全性・有効性が高く、1回の接種で重症の水痘をほぼ100%予防でき、2回の接種で軽症を含むほとんどすべての水痘を予防できるといわれています。2014年10月から定期予防接種になったため、近年水痘患者数は減少しています。しかし、大人の水痘は重症化するので、水痘に罹ったことがない方はぜひ水痘ワクチンを接種しましょう。ワクチンを接種したことがなく免疫がない人が、水痘に罹っている患者と接触すると感染リスクは高くなります。接触後72時間以内にワクチンを接種することにより発症の防止、軽症化が期待できます。水痘に罹ったことがあるかどうか分からないという場合は、抗体検査で免疫があるかどうかを確認することができます。

新型コロナウイルス

心がけよう感染防止対策

NO MORE 感染拡大

あなたと
あなたの大切な人を守るために



マスクを着用しましょう



手洗い、消毒をしましょう

身体的な距離を確保しましょう
2メートル(最低1メートルあける)



参照 『新型コロナウイルスの集団感染を防ぐために』ポスター
河内長野市新型コロナウイルス関連肺炎対策本部発行

また、水痘の感染で特に注意が必要なのは妊婦の方です。妊婦が妊娠後期に水痘に罹ると、水痘肺炎など重い病気になることがあり、胎児への危険性も高くなります。妊娠3ヶ月前までに病院で受診し、水痘の抗体検査を受け、免疫が認められなければワクチンを接種するようにしましょう。ただ、この水痘ワクチンは生ワクチンのため、免疫機能が低下している方や妊娠してからは受けられません。

通常、水痘は終生免疫（一度の感染で生涯その後は罹らない）を得ることが多いですが、治癒しても実はそれで終わりではありません。水痘带状疱疹ウイルスは、初感染後も神経節というところに潜伏し続け、加齢やストレス、免疫力低下などの状態になった時に再び活性化し、带状疱疹という別の病気を引き起こすことがあります。水痘ワクチンの接種は水痘の予防だけでなく、带状疱疹の予防にも効果があります。

